

第20回 天文文化研究会

The 20th Workshop on Cultural Astronomy



2020年12月5日（土）10時スタート，17時30分頃終了
@大阪工業大学梅田キャンパス または オンライン参加形式

(2020-1127版 参加登録用)

本研究会のページ

<http://www.oit.ac.jp/is/shinkai/tenmonbunka/20201205/index.html>

参加登録のページ（参加申し込みは12月3日（木）正午まで，情報交換会参加は11月末まで）

<https://forms.gle/3pmnkzFGkvEni8MG8>

ご案内

これまで、年に1回ないし2回のペースで開催しておりました天文文化研究会ですが、このたび第20回を迎えることになりました。今回も、興味ある多くの方との交流を通じて、研究領域を広げ、アウトリーチ活動へもつなげていきたいと考えております。

前回（本年9月）の研究会では、初めてオンライン形式で実施しました。遠方の方でも気軽に参加できるという点でご好評をいただきました。今回は、対面でのさらなる議論の深化と、オンライン形式のどちらでも可能とするハイブリッド形式を試みます。

今回は3名の方の招待講演をお願いいたしました。その後、ショートトークのセッションを設けますので、何か話題のある方は、どうぞお気軽に発表・発言をお願いいたします。現在までに3件の発表申し込みをいただいています。

会場は、大阪工業大学梅田キャンパス（大阪駅前）の教室を利用します。会場参加の方は、あらかじめ入構者名を守衛室に届けておく必要があります。オンライン参加の方は、ZoomおよびSlackを用います。アクセスURLは登録された方のみにお知らせいたします。参加申し込みは12月3日正午までをお願いいたします。また、終了後、情報交換会を企画しています。弁当を取り寄せて、ゼミ室にて対談する形式です。こちらの参加は弁当発注の都合上、11月末までをお願いいたします。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

本研究会は、科学研究助成費・挑戦的研究(萌芽)19K21621『天文文化学の創設：天文と文化遺産を結ぶ文理融合研究の加速』の助成を受けて開催しております。これまでの研究会の記録は

<http://www.oit.ac.jp/is/shinkai/tenmonbunka/workshop.html>

にてご覧いただけます。

第20回天文文化研究会プログラム 2020年12月5日 (土)

会場 大阪工業大学梅田キャンパス

10:00 ご挨拶 松浦清

10:10 【招待講演】玉澤 春史 (京都大学)

Harufumi Tamazawa (Kyoto Univ.)

天変地異の記録を用いた歴史科学技術社会論試論

概要：過去の天変地異の記録は、天文気象現象に遭遇した人々が その時々理解のうえで何とか理解・説明しようとしてきた試み である。同じ現象でも違った表現、そして行動をするのは、当時の自然現象への認識の理解が社会階層でどのように違っていたかを反映する可能性も持つ。本報告では、これまで報告者が研究に用いる観測記録として扱ってきた過去の天体現象の記録から、複数地点で 観測記録がある事象を取り上げ、記述の差異を見ながら 自然認識と社会との関係が考察できるか試みる。

昼休み前 出席者自己紹介 (お一人90秒程度) 前半

Self-introductions of participants (within a minute per person)

昼休み Lunch Break

13:00 【Invited talk】안상현 Sang-Hyeon Ahn (Korea Astronomy and Space Science Institute)

The instruments developed during the reign period of King Sejong the great and its applications

概要：I introduce my recent researches on "the instruments developed during the reign period of King Sejong the great and its applications" to measure the positions of Mars in 1491. During the period of King Sejong (early half of the 15th century) there were developed 16 instruments including the positional astronomy, precise astronomical clocks, water clocks, sundials... Among them the small simplified armilla had been used by the court astronomers during the early half period of the Joseon dynasty. There is one good example of its use for measuring the equat. positions of Mars during his retrograde motions around 1491 CE. I analyzed them to verify the geomagnetic fields of that time.

休憩前 出席者自己紹介 (お一人90秒程度) 後半

Self-introductions of participants (within a minute per person)

休憩 Coffee Break

15:00 ショートトーク or ディスカッション or 連絡事項

岩橋清美 (国文学研究資料館) Kiyomi Iwahashi

オーロラと近世社会 -- オーロラをめぐる人々の意識と記録のあり方 -- (30分, 会場)

北井礼三郎 (立命館大学) Reizaburo Kitai

明治4年12月のオーロライベントの飛騨高山での記録 (20分, 会場)

陶山徹 (長野市立博物館) Toru Suyama

長野県天文文化研究会の活動～長野県は宇宙県～ (15分, remote)

吉田薫 (東亜天文学会) Kaoru Yoshida

調査報告「堺・正覚寺 須弥象碑、須弥山儀について」 (10分, 会場)

17:30 終了 情報交換会へ

参加登録者の方々（敬称略，五十音順）11月27日現在（D情報交換会も参加）

| | | |
|----------------|-------------------|--------|
| **** 会場参加 **** | 横山 恵理 D | 千本 英史 |
| 井村 誠 D | 米田 達郎 | 塚本 達也 |
| 岩崎 清美 | **** オンライン参加 **** | 永原 順子 |
| 神羽 麻紀 | Ahn, Sang Hyeon | 丹羽 愛一郎 |
| 北井 礼三郎 D | 石田 淳 | 松岡 義一 |
| 真貝 寿明 D | 宇代 貴文 | 望月 優子 |
| 玉澤 春史 D | 梅田 千尋 | |
| 鳥居 隆 D | 小林 道生 | |
| 松浦 清 D | 作花 一志 | |
| 三浦 泰保 D | 陶山 凧 | |
| 吉田 薫 D | 田島 由起子 | |

会場のご案内

大阪工業大学 梅田キャンパス 12階ゼミ室1（予定）

（大阪市北区茶屋町1番45号）<http://www.oit.ac.jp/rd/access/index.html>

⇒【4ページの地図】参照

入校には事前に守衛室に氏名を届けておく必要があります。

守衛室窓口にて、カードキーをお受け取りください。

当日飛び入り参加はできません。事前に参加申し込みをお願いいたします。

オンラインでのアクセス先

参加登録された皆様に、メールにてお知らせいたします。

Zoomで放送するとともに、資料の共有などではSlackをいたします。

ウェブブラウザ（Safari, Google Chrome, MS Edge, Firefoxなど）上で無料で使えますが、PC用のアプリケーション Zoom, Slack をインストールした方が、使い勝手がよいです。

ご案内

情報交換用にメーリングリストを作っております。

tenmon-bunka_AT_googlegroups.com

会員間の情報共有、本研究会のご案内などに利用しております。登録ご希望の方は、

真貝(hisaaki.shinkai_AT_oit.ac.jp)または横山(eri.yokoyama_AT_oit.ac.jp)までお知らせください。

昼食は、21階に学生向けカフェテリア（一般の方は800円）があります。1階にはコンビニエンスストアもあります。会場、および隣室で、お食事可能です。

大阪工業大学 梅田キャンパス (OIT梅田タワー) へのアクセス

<http://www.oit.ac.jp/rd/access/index.html>



所在地：大阪市北区茶屋町1番45号

- JR「大阪」駅から徒歩5分
- 阪急「大阪梅田」駅から徒歩3分
- 阪神「大阪梅田」駅から徒歩7分
- 御堂筋線「梅田」駅から徒歩5分
- 谷町線「東梅田」駅から徒歩5分

【地下街からのアクセス（地下街直結）】

ホワイトィうめだプチシャンモールをプチ北広場まで進み、ヤンマー本社ビルH-2方向に曲がり地下道を突き当たりまで進む。（JR、地下鉄、各私鉄のすべての駅から雨の日も快適にアクセスできます。）

★入構時は、守衛室にて「天文文化研究会参加」としてご氏名をいただければ、入構に必要なカード・キーが渡されるようにしておきます。

★会場は12階セミナー室1 の予定です。